

第6回 吉野町地域交通協議会  
議 事 録

日時： 平成21年12月15日(火) 10:00~11:40

場所： 吉野町中央公民館第3・4研修室

出席者：

所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官	廣岡 秀一	
奈良県吉野警察署 交通課長	井筒 琢弥	
奈良県土木部道路・交通環境課 主事	野田 民樹	
吉野町区長連合会	福田 鹿男	
吉野町老人クラブ連合会 会長	南 幸雄	
吉野町観光協会 会長	福井 逸生	
(社)吉野町社会福祉協議会 副会長	岩城 輔教	
社団法人奈良県バス協会 専務理事	西本 光良	
奈良県タクシー協会 専務理事	岩橋 宣禎	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター長	中前 浩也	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター課員	中谷 宗孝	
吉野町タクシー協会 上市部会長	戌亥 一男	
吉野町教育委員会 学校教育課長	表谷 充康	
吉野町教育委員会 学校教育課主任	戸毛 祥博	
吉野町 副町長	小松 正	会長
岸野都市交通計画コンサルタント(株)代表取締役	岸野 啓一	
吉野町企画政策課 課長	大北 雅祥	事務局
吉野町企画政策課 課長補佐	上林 勝則	事務局
吉野町企画政策課 主査	井上 紀子	事務局

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 委員名簿
- ・ 出席者名簿
- ・ 出席者座席表
- ・ 資料1「コミュニティバスの運行状況と計画の見直しについて」
- ・ コミュニティバス時刻表(6月改正)
- ・ スマイルバス路線図(見直し案)

## 1. 開会

## 2. 小松会長あいさつ

本日は、お忙しいところ、ご出席くださりましてありがとうございます。前回の協議会は今年の1月に開催させていただき、各委員様の貴重な意見をいただき、今年6月から実証運行に入りました。6ヶ月経過しましたので、これまでの反省や、新しい試みなど、よりよいコミバスの運行となるよう、忌憚のないご意見をお出しいただけますようお願いいたします。民主党に政権交代し、実証運行についても事業仕分けによりふるいにかけるのではないかと心配もありますが、この3年間の実証運行が終わると、4年目からは独自で運行していくこととなりますので、無駄のない、効率的な運行をめざしていきたいと思っております。本日は活発な論議をお願いいたします。

## 3. 議題

### 【議題内容】

(1) 吉野町スマイルバスの利用実績について・・・資料1 (P1～P3) 参照

(事務局説明) 上林担当

- ・ 月別の利用実績
- ・ 経年変化

(2) 利用者意向の把握について・・・資料1 (P4～P12) 参照

(コンサルタント会社説明) 岸野担当

#### アンケート調査の実施

目的

調査方法

調査内容・調査項目

調査場所

調査日時

(3) 運行見直し(案)について・・・資料1 (P13～27) 参照

(事務局説明) 上林担当

#### 見直しの考え方

土曜日の運行拡大と休日ダイヤの設定

平日ダイヤの見直し

土曜ダイヤの設定

#### 平日ダイヤの見直し内容

所要時間の見直し

鉄道との接続

龍門巡回線・上市巡回線のルート見直し

Dルート・町営住宅への対応

早朝便の発地の見直し

**土曜ダイヤの設定**

運行路線

運行時間帯

便数・ダイヤ

鉄道との接続

デマンド方式の導入

**【質疑応答】**

委員

- ・ 区長からの要望取り入れていただきありがたい。
- ・ これから団塊の世代の高齢化があり、利用が増えてくるのではないか。
- ・ 75歳から80歳にくらいになると車の運転しづらくなるという声を聞くので、これらの点を今後、計画の中に考慮しながらお願いしたい。

委員

- ・ 国からの補助金を受けている3年間の実証運行ということだが、周知はしなくてよいのか。

事務局

- ・ 協議会では運行そのものについての話し合いの場。周知については広報誌、ケーブルテレビ、区長会等への直接働きかけを行っていきたい。
- ・ まだ周知不足であるので、今後違う形での周知を考え、乗車数の増加へつなげたい。

委員

- ・ 観光という面から。国栖の里観光協会が最近活発に活動されている。観光資源として吉野山に無いのは、水であるので、国栖の吉野川、津風呂湖などと連携していきたいと考えている。
- ・ 最近はお金をかけないで旅行する傾向にあり、吉野山から喜佐谷・宮滝へのコースや、国栖への往復する交通手段の問合せがある。
- ・ 問合せがあった場合、コミバスもご案内するが、大々的にPRしてよいのか。特にグループの旅行客などの場合、バスが混み合い、バス利用者増加にはなるが、地元の利用客に迷惑がかかるのではないかという懸念がある。
- ・ 役場とも相談しながらバス利用のPRなど、方策を練って進めていきたい。

事務局

- ・ 国栖方面Bコースについて、奈良交通の路線バスの運行していない時間に運行するよう配慮した。

委員

- ・ 上市巡回線の立野地区の中道走行について、前回、国道に白線がひかれている歩道の部分について車は走行できないという話だった。今回中道走行に変更というのは、国道に一回出てまた中道に入るのか。

事務局

- ・ はい。高齢者が国道を渡るより、プロの運転する車が一旦国道へ出て、短い距離を走ってまた戻るほうが安全であると考えた。

委員

- ・ 今回は国道に一旦出て走行。この部分について道路構造をどうするかということもあるが、結論出ていない。

委員

- ・ 資料3ページ10月の利用者数について。例年10・11月は増えているが、今年は10月減っているのはなぜか。

事務局

- ・ 違う視点かもしれないが、昨年に比べ9月が増えている。これは、今年シルバーウィークがあり、運行日数は少なくなったが、月間通すと通院などの利用者数は同じという理由から一日の乗客が増えた。

委員

- ・ 10・11月はインフルエンザの影響。当社路線バスも乗客が5パーセント減。

委員

- ・ 12ページの便数が少ないという意見があるが、これは広報が足りないからなのか。

事務局

- ・ 旧ダイヤで利用していた特定の便がなくなったことに対する意見である。

委員

- ・ このアンケートは利用者の意見である。役場に寄せられる意見、特に利用できない空白地域の人や、利用していない人などからの要望などもこれからの地域公共交通を考えていくには重要。
- ・ 利用していない人、できない人の要望を入れられる範囲で入れるべき。

事務局

- ・ 昨年1000件のアンケート調査を行い、利用していない人の意見も出た。無駄だという意見もあったが、現在乗っていない人も今後乗る可能性があるので

バスの運行を続けてほしいという意見もあった。

- ・ 今年度はこのようなアンケートは行っていない。

#### 事務局

- ・ 次回の改正案では、要望により、左曽の奥の方まで運行することになる。
- ・ 吉野運動公園でのグランドゴルフの時間に合わせてほしいという意見については、曜日が限られているので臨時便を運行するという方法もある。

#### 委員

- ・ 他市町村では乗り合いタクシーという導入もある。バスをどうするかということだけでなく、タクシーも公共交通という位置づけであるので、組み合わせる様な形で、連携を考えてはどうか。

#### 事務局

- ・ タクシー車両の利用も考えている。先ほどのグランドゴルフについても相互タクシー管理のワゴン車を利用するののも一つの方法である。
- ・ 乗車数に合わせて、多い時間帯はバス車両、少ない時間帯はワゴン車という様に配備することが必要。

#### 委員

- ・ 良い計画を立てていただくほど、受託者としては時間的余裕などが苦しくなる。できるだけ考慮してほしい。

#### 委員

- ・ 6月改正後、スクール混乗について、子どもたちの乗車マナーや一般客に迷惑をかけないかなど心配していた。
- ・ アンケートによると大半の方が混乗について好ましいということ。子どもたちに対して聞いても特に支障はないとのこと。
- ・ 今後改正の土曜の運行についても、中学校クラブ活動に軸足を置いて考えていただきありがたい。

#### 委員

- ・ スクール混乗については一般客の協力を得て、座席も配慮してもらい、うまくいっている。
- ・ 6月改正時には、最初乗務員がどのように走るかということで、混乱もあったが、落ち着いてきた。増便についても、現場は問題ない。
- ・ 乗り合いバス事業者としての意見としては、今回路線バスについて値上げをすることに対してご理解いただきたい。
- ・ 路線バス川上村からの八木大滝線は国庫補助を受けている路線。補助金がなければ運行できない路線なので、ご理解ください。

#### 委員

- ・ 交通事故がないようお願い。今後高齢者の利用増加し、乗り降り時の事故が懸念される。降車時運転手さんからの声かけなども効果がある。

#### 委員

- ・ 先ほどの八木大滝線は国と県の補助で運行しているが、今年はインフルエンザの影響で乗車数が落ち込み、国庫補助の用件に満たなくなった。
- ・ そのため赤字分を奈良交通全額負担となる。今後運行について相談しながら進めていきたい。

#### 委員

- ・ 次回の改正について良いダイヤを作られた。今後色々な手続きが発生するので、時間的に余裕をもってご相談ください。
- ・ 事業仕分けについては、今のところ国土交通省からのコメントなし。
- ・ 来年度の補助事業41億円の予算がついている。去年の当初より少ない。
- ・ 今年度行われた補正予算も来年度はあるかわからない。
- ・ これからは、きちんとした実証計画運行をするよう、厳しくなっていくのではないかと思う。

#### 事務局

- ・ 少ない予算で、最大限の結果が発揮できるように協議会でご意見をいただいている。
- ・ 国の補助が切れたのでバスは走らせられないではいけない。今後タクシー車両の利用やデマンド方式等も十分視野に入れ、検討していく。

#### 委員

- ・ グランドゴルフについて、女性の免許を持っていない人が困っているのでよろしく。

#### 事務局

- ・ グランドゴルフは月曜日のみなので毎日の定期運行は難しい。9時開始とのことだが、その時間帯の前が通学輸送で忙しい時間帯なので、曜日限定の臨時便や予約制を考えている。
- ・ ただ、このような運行の仕方については、運輸支局や運行委託事業者との調整が必要。

#### 委員

- ・ 県の方をお願いしたい。路面がかなり傷んでいるところがありバスがゆれる。病院通いの乗客が多いのでバスが揺れて怪我をしかねない。補修をお願いしたい。

#### 事務局

- ・ ダイヤなど便利にすればするほど、費用がかさむ。この会議もバスのことだけに終始しては実証運行ではなくなる4年目から、危惧する問題が多数ある。
- ・ 全国的な事例を見ていると、タクシーの補助を出すほうが費用的に良い場合もあり、このような他の方法でも過疎地域の公共交通網ができれば良い。
- ・ 今後過疎法について、ソフト事業の対応も見直しされていることもあるので、このことも考えながら、事業を展開していきたい。

(運行見直しについての今後の予定)

#### 事務局

- ・ 今回提案した件について微調整の後、1月22日に再度協議会を開催する。
- ・ コース名をわかりやすく変更、コース毎のイメージカラーの決定、楢井地区の中道走行について実証運行案などもある。
- ・ 今回の見直し案について精査し、手続きなどが順調に進むと3月20日以降で改正をする予定。